

AdvanceBio 2-AB glycan labeling kit (96 samples), Part Number 5190-8008

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: AdvanceBio 2-AB glycan labeling kit (96 samples), Part Number 5190-8008		
品番 (化学検査キット)	: 5190-8008		
部品番号	Reductant solution	データなし	
	2-AB solution	データなし	
供給者/ 製造者	: 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社		
	住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1		
	電話番号 +81-42-660-3111		
緊急連絡電話番号 (受付時間)	: CHEMTREC®: +(81)-345209637		
化学製品の推奨される用途	: 分析化学研究所用の試薬および基準		
	Reductant solution	375 µL	
	2-AB solution	375 µL	

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

#### Reductant solution

H300	急性毒性 (経口) - 区分2
H311	急性毒性 (皮膚) - 区分3
H330	急性毒性 (吸入した場合) - 区分2
H314	皮膚腐食性 - 区分1B
H318	眼に対する重篤な損傷 - 区分1
H371	特定標的臓器毒性 (単回ばく露) - 区分2
H401	水生環境有害性 (急性) - 区分2
H411	水生環境有害性 (長期間) - 区分2

#### 2-AB solution

H315	皮膚刺激性 - 区分2
H318	眼に対する重篤な損傷 - 区分1
H317	皮膚感作性 - 区分1
H370	特定標的臓器毒性 (単回ばく露) - 区分1
H402	水生環境有害性 (急性) - 区分3

### GHS ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル

: Reductant solution



2-AB solution



#### 注意喚起語

: Reductant solution  
2-AB solution

危険  
危険

#### 危険有害性情報

: Reductant solution

H300 + H330 - 飲み込んだり, 吸入すると生命に危険。  
H311 - 皮膚に接触すると有毒。  
H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。  
H371 - 臓器の障害のおそれ。(呼吸器系)  
H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性。  
H315 - 皮膚刺激。  
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
H318 - 重篤な眼の損傷  
H370 - 臓器の障害。(血液、呼吸器系)  
H402 - 水生生物に有害。

2-AB solution

#### 注意書き

## 2. 危険有害性の要約

安全対策	: Reductant solution	P280 - 保護手袋, 衣類および保護眼鏡又は保護面を着用すること。
	2-AB solution	P273 - 環境への放出を避けること。 P260 - 蒸気を吸入しないこと。 P280 - 保護手袋を着用すること。保護眼鏡または保護面を着用すること。 P273 - 環境への放出を避けること。 P260 - 蒸気を吸入しないこと。
応急措置	: Reductant solution	P391 - 漏出物を回収すること。 P304 + P340 - 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P308 + P311 - ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
	2-AB solution	P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
保管	: Reductant solution 2-AB solution	該当しない 該当しない
廃棄	: Reductant solution	P501 - 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。
	2-AB solution	P501 - 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。
補足的なラベル要素	: Reductant solution 2-AB solution	飲み込まないこと。取扱い後はよく洗うこと。 飲み込まないこと。取扱い後はよく洗うこと。
他の有害性	: Reductant solution	消化管に炎症を引き起こす。
	2-AB solution	消化管に炎症を引き起こす。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	: Reductant solution 2-AB solution	混合物 混合物
-------------	---------------------------------------	------------

### CAS 番号/他の特定名

化学名又は一般名	%	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
Reductant solution ジメチルスルホキサイド sodium cyanotrihydroborate	≥75 - ≤90 20	67-68-5 25895-60-7	2-1553 データなし	(2)-1553 2-(3)-545
2-AB solution ジメチルスルホキサイド 酢酸 アントラニルアミド*	≥50 - ≤75	67-68-5	2-1553	(2)-1553
	≥25 - <50	64-19-7	2-688	(2)-688
	≥10 - <20	88-68-6	3-4561	4-(7)-1972

## 4. 応急措置

吸入した場合	: Reductant solution	直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
	2-AB solution	直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止

## 4. 応急措置

### 皮膚に付着した場合

: Reductant solution

2-AB solution

止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。

直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。

### 眼に入った場合

: Reductant solution

2-AB solution

直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。

直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。

### 飲み込んだ場合

: Reductant solution

2-AB solution

直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

### 最も重要な徴候及び症状

#### 予想される急性健康影響

#### 吸入した場合

: Reductant solution

2-AB solution

吸入すると生命に危険。吸入すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。

吸入すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こす。

## 4. 応急措置

皮膚に付着した場合	: Reductant solution	重度のやけどを引き起こす。皮膚に接触すると有毒。皮膚に接触すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。
	2-AB solution	皮膚に接触すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こす。皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。
眼に入った場合	: Reductant solution	重篤な眼の損傷
	2-AB solution	重篤な眼の損傷
飲み込んだ場合	: Reductant solution	飲み込むと生命に危険。消化管に対して腐食性。やけどを引き起こす。飲み込むと、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。
	2-AB solution	消化管に対して腐食性。やけどを引き起こす。飲み込むと、単回暴露で臓器に障害を引き起こす。
<b>過剰にばく露した場合の徴候症状</b>		
吸入した場合	: Reductant solution	特にデータは無い。
	2-AB solution	特にデータは無い。
皮膚に付着した場合	: Reductant solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み及び刺激 充血 水ぶくれになることがある
	2-AB solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み及び刺激 充血 水ぶくれになることがある
眼に入った場合	: Reductant solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み 流涙 充血
	2-AB solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み 流涙 充血
飲み込んだ場合	: Reductant solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 胃痛
	2-AB solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 胃痛
応急処置をする者の保護	: Reductant solution	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
	2-AB solution	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
医師に対する特別な注意事項	: Reductant solution	火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
	2-AB solution	火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

## 5. 火災時の措置

消火剤	: Reductant solution	火災に応じた消火剤を使用する。
	2-AB solution	火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: Reductant solution	認知済みのものは無し。
	2-AB solution	認知済みのものは無し。

## 5. 火災時の措置

特有の危険有害性	: Reductant solution	火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。本製品は水生生物に対して有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
	2-AB solution	火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。本製品は水生生物に対して有害である。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
有害な熱分解生成物	: Reductant solution	分解生成物には以下の物質が含まれることがある: 二酸化炭素 一酸化炭素 窒素酸化物 硫黄酸化物類
	2-AB solution	分解生成物には以下の物質が含まれることがある: 二酸化炭素 一酸化炭素 窒素酸化物 硫黄酸化物類
特有の消火方法	: Reductant solution	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
	2-AB solution	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
消火を行う者の保護	: Reductant solution	消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。
	2-AB solution	消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

非緊急時対応要員について	: Reductant solution	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気やミストを呼吸しない。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
	2-AB solution	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気やミストを呼吸しない。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
緊急時対応要員について	: Reductant solution	流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報を注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
	2-AB solution	流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報を注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

## 6. 漏出時の措置

<b>環境に対する注意事項</b>	: Reductant solution	漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。漏出物を回収すること。
	2-AB solution	漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

<b>封じ込め及び浄化の方法及び機材:</b>	Reductant solution	危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
	2-AB solution	危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 安全に取扱うための注意事項

<b>安全取扱注意事項</b>	: Reductant solution	適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。環境への放出を避けること。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品の残留物が残存して有害危険性がある。容器を再利用してはならない。
	2-AB solution	適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。皮膚感作障害の病歴を持つ人を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。環境への放出を避けること。当物質の通常の取り扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品の残留物が残存して有害危険性がある。容器を再利用してはならない。

<b>衛生対策</b>	: Reductant solution	本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。
	2-AB solution	本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

### 保管

<b>安全な保管条件</b>	: Reductant solution	以下の温度範囲で保管する: 2 から 8°C (35.6 から 46.4°F)。現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。
	2-AB solution	現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換

## 7. 取扱い及び保管上の注意

気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いはまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策

: 換気が十分な場所でのみ使用する。工程の隔離、局所排気通風装置あるいはその他の技術的管理設備を使用し、作業者が暴露される空気中の汚染物質濃度をあらゆる推奨あるいは法定暴露限界以下に保つ。

### 暴露限界

化学名又は一般名	暴露限界値
2-AB solution 酢酸	日本産業衛生学会(日本、5/2019)。 OEL-M: 10 ppm 8時間。 OEL-M: 25 mg/m <sup>3</sup> 8時間。

### 保護具

#### 呼吸用保護具

: 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

#### 手の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

#### 眼の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 化学物質用飛沫防止ゴーグルおよび/またはフェイスシールド 吸入危険有害性が存在する場合には、代わりにフルフェイス呼吸保護具が必要な場合もある。

#### 皮膚及び身体保護具

: 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

物理的状态	: Reductant solution 2-AB solution	液体 液体
色	: Reductant solution 2-AB solution	無色。液体 透明。
臭い	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
臭いのしきい値	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
pH	: Reductant solution 2-AB solution	7.5 8.8
融点・凝固点	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
引火点	: Reductant solution 2-AB solution	データなし 密閉式: >93.3°C (>199.9°F)
蒸発速度	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
燃焼性(固体、気体)	: Reductant solution 2-AB solution	該当しない 該当しない

## 9. 物理的及び化学的性質

燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
蒸気圧	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
蒸気密度	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
比重 (相対密度)	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
溶解度	: Reductant solution 2-AB solution	以下の物質に溶解: 冷水 および 温水。 以下の物質に溶解: 冷水 および 温水。
n-オクタノール/水分配係数	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
自然発火温度	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
分解温度	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
粘度	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
<b>その他のデータ</b>		
燃焼点	: Reductant solution 2-AB solution	データなし データなし
分子量	: Reductant solution 2-AB solution	該当しない 該当しない

追加情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: Reductant solution 2-AB solution	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。 この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: Reductant solution 2-AB solution	製品は安定である。 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: Reductant solution 2-AB solution	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: Reductant solution 2-AB solution	特にデータは無い。 特にデータは無い。
混触危険物質	: Reductant solution 2-AB solution	酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。
危険有害な分解生成物	: Reductant solution 2-AB solution	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

## 11. 有害性情報

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
Reductant solution ジメチルスルホキサイド	LD50 経皮	ラット	40000 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	14500 mg/kg	-
2-AB solution ジメチルスルホキサイド 酢酸	LD50 経皮	ラット	40000 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	14500 mg/kg	-
	LC50 吸入した場合 蒸気	ラット	11000 mg/m <sup>3</sup>	4 時間
	LD50 経皮	ウサギ	1060 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	3310 mg/kg	-

## 急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (ガス) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (ダストおよびミスト) (mg/l)
Reductant solution Reductant solution ジメチルスルホキサイド sodium cyanotrihydroborate	25	250	N/A	N/A	0.25
	14500	40000	N/A	N/A	N/A
	5	50	N/A	N/A	0.05
2-AB solution 2-AB solution ジメチルスルホキサイド 酢酸 アントラニルアミド	5000	2650	N/A	27.5	N/A
	14500	40000	N/A	N/A	N/A
	3310	1060	N/A	11	N/A
	500	N/A	N/A	N/A	N/A

## 刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	暴露時間	観察
Reductant solution ジメチルスルホキサイド	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	100 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	100 mg	-
2-AB solution ジメチルスルホキサイド	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	100 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
酢酸	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	100 mg	-
	皮膚 - 強度の刺激	ウサギ	-	525 mg	-

## 呼吸器感作/皮膚感作

データなし

## 生殖細胞変異原性 (変異原性)

データなし

## 発がん性

データなし

## 生殖毒性

データなし

## 特定標的臓器毒性、単回ばく露

## 11. 有害性情報

名称	カテゴリ	暴露経路	標的器官
<b>Reductant solution</b> ジメチルスルホキサイド	区分2	-	呼吸器系
<b>2-AB solution</b> ジメチルスルホキサイド	区分2	-	呼吸器系
酢酸	区分1	-	血液、呼吸器系
アントラニルアミド	区分3	-	気道刺激性

## 特定標的臓器毒性、反復ばく露

データなし

## 吸引性呼吸器有害性

データなし

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
<b>Reductant solution</b> ジメチルスルホキサイド	急性 LC50 25000 ppm 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 34000000 µg/l 真水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	慢性 NOEC 100 ul/L 海水	藻類 - Ulva lactuca	72 時間
	慢性 NOEC 100 ul/L 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 幼若体 (ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	21 日
<b>2-AB solution</b> ジメチルスルホキサイド	急性 LC50 25000 ppm 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 34000000 µg/l 真水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	慢性 NOEC 100 ul/L 海水	藻類 - Ulva lactuca	72 時間
	慢性 NOEC 100 ul/L 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 幼若体 (ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	21 日
酢酸	急性 EC50 73400 µg/l 真水	藻類 - Navicula seminulum	96 時間
	急性 EC50 65000 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 32 mg/l 海水	甲殻類 - Artemia salina	48 時間
	急性 LC50 75000 µg/l 真水	魚類 - Lepomis macrochirus	96 時間
	急性 EC50 9.3 mg/l 真水	藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata	72 時間
アントラニルアミド	急性 EC50 24 mg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間
	急性 LC50 395000 µg/l 真水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
	急性 NOEC 3.2 mg/l 真水	藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata	72 時間
	急性 NOEC 18 mg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間

## 残留性・分解性

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
<b>Reductant solution</b> ジメチルスルホキサイド	OECD 301D Ready Biodegradability - Closed Bottle Test	31 % - 容易ではない - 28 日	-	-
<b>2-AB solution</b> ジメチルスルホキサイド	OECD 301D Ready Biodegradability - Closed Bottle Test	31 % - 容易ではない - 28 日	-	-

## 12. 環境影響情報

アントラニルアミド*	OECD 301B Ready Biodegradability - CO <sub>2</sub> Evolution Test	90 から 100 % - 容易 - 28 日	20 mg/l	-
------------	---	-------------------------	---------	---

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
<b>Reductant solution</b> ジメチルスルホキシド	-	-	容易ではない
<b>2-AB solution</b> ジメチルスルホキシド	-	-	容易ではない
酢酸	-	-	容易
アントラニルアミド*	-	-	容易

### 生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP <sub>ow</sub>	BCF	可能性
<b>Reductant solution</b> ジメチルスルホキシド	-1.35	3.16	低
<b>2-AB solution</b> ジメチルスルホキシド	-1.35	3.16	低
酢酸	-0.17	3.16	低
アントラニルアミド*	0.35	-	低

### 土壌中の移動性

: データなし

### オゾン層への有害性

: 該当しない

### 他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要があります。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

## 14. 輸送上の注意

### UN / IMDG / IATA

: 規定なし。

### 追加情報

備考: デミニミスの免除

### 使用者のための特別な予防措置

: **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

### IMO機器によるばら積み運搬

: データなし

## 15. 適用法令

### 消防法

カテゴリ	物質名/種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
Reductant solution 第四類	以下を含む物質: 第三石油類(水溶性)	III	火気厳禁	4000 L
2-AB solution 第四類	第三石油類(水溶性)	III	火気厳禁	4000 L

消防法 - 消防活動阻害物質 : 非該当

### 安衛法

#### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	政令番号
2-AB solution 酢酸	該当	176

#### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	政令番号
2-AB solution 酢酸	該当	176

### 化学物質審査規制法

記載された成分なし。

### 毒物及び劇物取締法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
Reductant solution 無機シアン化合物	20	毒物	8

### 化学物質排出把握管理促進法

記載された成分なし。

## 16. その他の情報

### 履歴

発行日/改訂版の日付 : 2021/07/16

前作成日 : 2018/10/22

バージョン : 4

### 略語の解説

: ATE = 急性毒性推定値  
 BCF = 生物濃縮係数  
 GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム  
 IATA = 国際航空輸送協会  
 IBC = 中型運搬容器  
 IMDG = 国際海上危険物  
 LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数  
 MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染)  
 N/A = データなし  
 UN = 国際連合

### 分類を行うために使用する手順

## 16. その他の情報

分類	由来
<b>Reductant solution</b> 急性毒性(経口) - 区分2 急性毒性(皮膚) - 区分3 急性毒性(吸入した場合) - 区分2 皮膚腐食性 - 区分1B 眼に対する重篤な損傷 - 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分2 水生環境有害性(急性) - 区分2 水生環境有害性(長期間) - 区分2  <b>2-AB solution</b> 皮膚刺激性 - 区分2 眼に対する重篤な損傷 - 区分1 皮膚感作性 - 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分1 水生環境有害性(急性) - 区分3	算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法  算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法

参照 : データなし

前バージョンから変更された情報を指摘する。

#### 注意事項

使用者への注意: このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。